

げんき 考房 こまき NEWS

編集 (特)こまき市民活動ネットワーク



榊原さんの講演は、明日からでもやってみたくなる、そんな気持ちにさせてくれる、パワーのある楽しい内容でした。



講演のあとの茶話会では、なごやかな雰囲気の中に的を射た質問が相次ぎました。

第2回 NPO 講座 「市民活動はあもしろい！」開講

今年度2回目のNPO初級講座「市民活動はあもしろい！」(こまき市民活動ネットワーク主催)が7月14日(土)、市公民館4階・視聴覚室で開催されました。

講師はNPO法人0563.netNPO代表理事の榊原正利さんで、市民が主役のまちづくりの実践例を豊富な体験に基づき、講演されました。

この日は台風模様の悪天候でしたが、市民を中心に37人が参加、熱心に耳を傾けました。また講演の後には講師を囲む茶話会もあり、具体的な質問が続出し、予定時間を大幅にオーバーするなど、大いに盛り上がりました。

講師の榊原さんが代表を務める0563.netは、市外局番0563、つまり、西尾市、幡豆、吉良、一色の各町を網羅するエリアのまちづくりをサポートするNPO法人です。環境問題、まちづくり、何でもありの地域課題に対し、地域資本(人・金・物・技術)を活かして、ビジネス手法を使って、自立性と継続性を持って解決していく事業、一般にはコミュニティビジネスと表現しますが、ここに焦点を充てての活動に定評があります。

講演は高校生によるまちづくりコンサート、イチジク生産農家が取り組む廃棄イチジクの資源

化など、豊富な活動事例を紹介しながら進行し、参加者の興味と共感を呼びました。

◇ 参加者の声 ◇

ほこあほこの会代表 山田真子さん
日頃の自分たちの活動の中の不安や疑問に対する明確な答えがたくさん詰まったとても楽しいお話でした。

「私がやらなきゃと思った人がやりはじめる」「必要なのは知識ではなく知恵」など、市民活動ならではの考え方にも納得しました。

また市民活動そのものを登山に例えて、ヘリコプターで頂上にポンと立たされたのでは意味がない、自分で歩いて頂上に立った人だけがそのよさを味わえる、目標が高ければ高いだけ喜びは大きいし、また自分で歩いたことのない人にその喜びと一緒に伝えることも大切、という話も興味深かったです。

子連れの参加でご迷惑をおかけしましたが、このような素敵な機会を与えてくださり、ありがとうございました。

『(仮称) NPOと行政の協働ルールブック・こまき版』

策定に向けた委員会スタート！



行政と市民の垣根を越えて、毎回活発に意見交換がされています。

市役所各課の若手職員と市民活動団体で活躍する市民が集まり、一緒に互いの「協働のありかたについてどうあるべきか」のルールづくりについて話し合っています。

この会議では、行政と市民活動が協働するポイントについて協議しています。第1・2回は、行政の長所短所、市民活動の長所短所について話し合いました。第3回は「外国人との共生」、第4回は「安心安全なまちづくり」をテーマに、行政の施策と市民活動の課題について話し合いました。

互いが立場を尊重しながら、対等な立場で、互いに協力して「協働するためのルールづくり」に知恵を絞

NPOミニ講座 連載その②

<「協働」って何？>

簡単に言えば、同じ目的を目指して、立場の違う人が、互いの特徴を活かして、力を合わせて取り組むことです。

例えば地震が起きた時、豊富な地域情報や財源を持つ行政と、何か役に立ちたいというボランティアの細やかなサービスが、同じ目的で、対等な立場で、尊重し合う姿勢で協力して働いたとき、サービスをする側もされる側も「やって良かった」「本当に助かった」と満足する、素晴らしい成果につながるでしょう。

しかし、実際には意思の疎通ができなかったり、互いに誤解を招いたり「協働」するには難しいことがたくさんあります。左記の協働ルールブック策定委員会は、協働がスムーズに行くためのルールづくりを行っています。

っています。

この会議は誰でも見学できますので、興味ある方は、市役所企画課(☎76-1105)までお問い合わせください。この会議は3月までに計10回開催予定です。

やさしい美術プロジェクト

小牧市民病院と名古屋造形芸術大学との協働

寄稿 / 高橋伸行氏

名古屋造形芸術大学准教授

やさしい美術プロジェクトディレクター

「小牧市民病院と同じ小牧市にある、名古屋造形芸術大と協力して病院内の環境をやすらぎのあるものにしたい」と病院サイドから本学に相談があったのは2003年。2004年の4月より、小牧市民病院から委託された事業として、美術・デザインによる「地域に開かれた病院」「やすらぎのある医療環境」を創り出すプロジェクトが始まりました。

「病院に美術作品」と言いますと、寄贈された絵画作品が、比較的、人の往来が多い廊下や待ち合いの壁に掛けてあるのをよく見かけますね。こうした取組みは意義のあるものですが、作者の意図が病院とかけ離れてしまうこともあります。「やさしい美術プロジェクト」はさらに病院という現場にふみこんで考えて行くことにしました。

まず、小牧市民病院に医療スタッフらによる「院内癒しとやすらぎの環境整備プロジェクト委員会」をつくっていただきました。現在にいたるまで月に1回は必ずこの委員会とプロジェクトによる研究会を開いて、作品や展示場所について検討しています。病院にいる人々が様々な痛みを抱えながら、どのような気持ちでおられるのか、院内に美術やデザインを施すことが必要な場所はどこか、人々のおかれた状況に対し

て適切な表現とはどのようなものか。

とくに小牧市民病院は全国でも有数の急性期病院ですから、重篤な患者さんがたくさんおられます。したがって話し合う内容は人が生きていく上でもっともたいせつな「いのち」に関わるが多くなります。こうした医療と美術・デザインという異分野のコラボレーションを基本にして手術室前廊下や集中治療センターなど、これまでに美術作品が展示されてこなかった場所にも彩りを与えています。



手術室前廊下に、自然をモチーフとしたプリントを施したロールスクリーンを設置しているところ。

制作 / 長江綾香さん

「病院から地域に文化を発信したい」とは小牧市民病院末永院長の言葉です。積極的に出かける場所ではないかもしれませんが、小牧市民病院に来院された際は自然なかたちで作品に接していただければと思います。

＜H19年度小牧市市民活動助成金＞対象事業の活動報告

育児支援サークル「バタバタママ」主催 親子ふれあいスキップコンサート



博士、ふしぎ、のっぼさん、まさやんと愛称で呼ばれるメンバーは、カラフルな衣装を身に著け、パフォーマンスも盛り沢山にステージ快しと動き回りました。

「親子ふれあいスキップコンサート」が7月5日(木)、東部市民センター講堂で開かれました。

子どもと一緒に本物の音楽に触れるがコンセプトの同コンサートは、普段はコンサート会場に入れない小さな子ども連れの親子で賑わい、スキップ楽団の演奏を思い切り楽しんでいました。

バンドはバイオリン、ギター、ドラム、エレキギターをパートとする4人組で構成。「おもちゃのチャチャチャ」「ハメハメ大王」など、馴染みの曲が流れると子どもたちは大喜び、一緒に歌う、手拍子をとるなど、会場が一体となって、盛り上がりました。

小牧防災リーダー会 主催 市民防災啓発事業



プロジェクターを使ったわかりやすい説明に、約50名の参加者は、熱心に耳を傾けました。

9月8日(土)、小牧市民病院8階会議室において、同病院言語室の言語障害者友の会(小牧のぞみの会)のみなさんと介護者を対象に、「巨大地震にそなえて」と題した講演会が開催されました。

小牧市における地震の予備知識や、地震への備えや心構え、また10月1日から始まる緊急地震速報などについての講演の後、災害時要援護者対策についての説明もありました。

小牧防災リーダー会では、このような出前講座を今後も積極的に行っていきたいと、広く呼びかけています。問合せ☎73-3833(円羽さん)

..... 市民活動の広場

「NPOトークセミナー&個別相談」開催

県内で活躍するNPO代表者らによるトークセッション形式のセミナー、セッション、定款のつくり方をはじめ、NPOの立ち上げから組織運営など、NPOの抱える悩みや疑問に答えてくれる(参加無料・要予約)日時/10月6日(土)10時30分~12時(トークセミナー)会場/市民活動センター 問合せ☎74-4011(市民活動センター)

「第2回企業&NPO協働アイデアコンテスト」

中部産業活性化センターとパートナーシップ・サポートセンターの共催で、NPOと企業の協働事業のアイデアを募集。中部5県下のNPOが対象で、11月15日締切。優秀作に対しては助成金(3~20万円)が贈られる。問合せ☎74-4011(市民活動センター)

友愛の会バザー開催

知的障害児を持つ親と子どもの会・友愛の会では恒例のチャリティーバザーを11月3日(土)10~15時の予定で開催。物品の販売のほか模擬店も出店。会場/堀の内地所(市内堀の3-701)問合せ☎77-2880(稲垣さん)

「生涯学習ボランティア・こまき研修会」参加者募集

生涯学習ボランティア・こまきではこの9月から来年2月の間に全6回の研修を実施する。都合のよい日、関心のある学習項目だけでも参加できる。9/29(土)東部史跡探訪・兒の森・江岩寺10/12(金)施設見学・小牧岩倉衛生組合環境ほか 11/17(土)ポツナワ共和国で体験した食と生活など。問合せ・申込み☎75-1729(杉本祐造さん)

「平成19年度味噌地区ボランティアのつどい」

平成20年度から変わる保健医療制度についての講座のほか、活動発表、リクレーションなど。OHP、手話つき。日時/10月13日(土)9時30分~11時45分 会場/味噌市民センター2階講堂 問合せ☎77-2769(栗本純子さん)

KIAの「ボーリング大会」

市在住の外国の人たちと市民のスポーツ交流として「ボーリング大会」(小牧市国際交流協会主催)が11月25日(日)国際ボウルにて開催される。賞品、参加賞あり。参加費が必要です。問合せ☎76-0905(国際交流協会)

「親子であそぼ!!げんき村」

昨年に続き「市民まつり」小牧山史跡公園会場に「親子であそぼ!!げんき村」が開村。市内の市民活動団体によるゲームやパフォーマンスなどのブースが盛り沢山で子ども連れの親子にはうれしい催し。日時/10月20(土)、21(日)日10~16時 会場/小牧山史跡公園 ※雨天決行

「兒聖の家」大山地区にオープン

自然体験学習施設「兒聖(ちごりの家)」が市内大山岩次にオープン。第70年の旧家に昔の農機具などの展示のほか、かまどによる調理、自然木を使った工作など、里山の暮らしも堪能できる。開館は土、日曜の10~17時。利用者募集と同時に施設運営のための賛助会員を募っている。問合せ☎79-2057(橋本保さん)

ピオトープでザリガニ釣り

野遊び塾リトルトリーでは岩倉市内のピオトープでザリガニ釣りを実施。日時/9月30日(日)9時45分集合(12時解散予定) 会場/岩倉市自然生態園 ※定員30人、参加費100円(保険・えさ代)。問合せ☎78-0875(内木さん)

HP年度小牧市市民活動助成金対象事業
「健康はお口から！」高齢者対象歯
磨き指導

こまき歯っ磨る（はっする）テーサ
ーズが60歳以上を対象に歯磨き指導を
行う。日時/11月25日(日)10-11時
30分 会場/ふれあいセンター3階大
会議室 問合せ☎79-9432(三宅さん)

「バンブーインスタレーション
in おおくさ 2007」

自然環境と暮らしの調和をめざし、
14回目の「バンブーインスタレーショ
ン」を開催。イベント等は10月27、
28日および11月3、4日に。展示物
については会期中はいつでも観賞でき
る。会期/10月27日(土)～11月4日
(日)会場/市内大草地区八田川周辺。

自然体験「秋の虫達と遊ぼう」

尾張北部ネイチャーゲームの会では
パークアリーナ周辺を舞台に「秋の虫達
と遊ぼう」を開催。日時/10月21日(日)
9時集合。集合場所/パークアリーナ池
周辺 参加費/4歳以上 200円大人
300円(保険・教材費)問合せ☎
72-8607(木戸さん)

トピックス

新しい総合計画策定のための 市民まちづくり研究会スタート

小牧市の呼びかけで「市民まちづくり研究会」(全8回)がスタートしました。同会は市民と市が協働で取り組む『これからのまちづくり』を具体的に検討するための勉強会で、ここでの提案は市が策定を進める総合計画に盛り込まれます。

初回は8月21日(火)に開催され、公募による32人の市民が参加し、中野市長のあいさつの後、市の概要の説明があり、続いてグループに分かれてワークショップ形式で本題に入りました。

今後は実際に総合計画の策定に当たる策定研究会と連携しながら、グループごとに研究テーマを決めて活動し、来年1月には提案内容がまとまります。



各グループからは、教育・福祉・防犯・文化振興・交通など、さまざまなテーマが出されました。

事務局便り

■ 市民情報センター ギャラリーの催し

- 8月23日(木)～9月28日(金)
『陽美会の仲間展』～日本画～
- 10月3日(水)～30日(火)
Catpatchclub「キルトに乾杯!!」
- 11月1日(木)～22日(木)
生涯学習ボランティア・こまき 作品展
- 11月27日(火)～12月11日(火)
公共交通の利用を呼びかけるポスター展

■ 団体の登録について

市では「市民活動団体」の登録を呼びかけています。登録団体は市のホームページで活動内容などをPRすることができるほか、市民活動助成金を申請する際の応募資格ともなります。登録資格や申し込み方法など詳細は企画課、または市民活動センターにおたずねください。

問合せ先

- 小牧市企画課企画政策係 ☎76-1105
- 小牧市市民活動センター ☎74-4011

■ センターをご利用ください

市民活動センターは市民活動の支援を行うところです。市内で市民活動を行っている団体はもちろん、在住、在勤、在学のどなたも利用できます。簡単な利用登録(無料、印鑑が必要)だけで会議スペース、パソコン、印刷機(有料)などが使えます。事務局に気軽におたずねください。

■ HPで市民活動情報をゲット!

市民活動センターのホームページには登録団体、イベント、講座、助成金などの情報をリアルタイムに登載しています。アドレスは下欄の奥付に記載の通り。アクセスください。

編集後記

中部大学からインターンシップの学生さんを受け入れての10日間。とまどいながらも初々しく仕事に向き合う姿に「若いっていいわ～。でも、私たちも一生青春よ！」
青春とは・・・夢と悩みが交錯する時間。そう！市民活動って青春そのもの！！ (は)

小牧市市民活動センター	〒485-0041 小牧市小牧2丁目107番地 市公民館内	TEL 0568-74-4011 FAX 0568-74-4070
	休館日 月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)	Eメール konaki.npo-office.com.ne.jp
	開設時間 10～18時	HPアドレス http://konaki.jp/